

日本臨床検査専門医会

平成 28 年度第一回常任幹事会議事録

平成 28 年 1 月 23 日

日本臨床検査専門医会

平成 28 年度 第一回常任幹事会議事録

開催日時：平成 28 年 1 月 23 日（土曜日）15 時 00 分～17 時 00 分

場 所：日本臨床検査専門医会事務所

出席者：登 勉 会長，東條 尚子 副会長，本田 孝行 副会長

木村 聡，土屋 達行，古川 泰司，宮崎 彩子，盛田 俊介，米川 修，

三宅 一徳 各常任幹事，佐守 友博 監事

欠席者：佐藤 麻子常任幹事，高木 康 監事

事務局：市川 綾子，松葉 美知代

（敬称略）

定刻，登勉会長挨拶の後，議長として登勉会長を満場一致で選任した。議長は議長席につき開会を宣した。

[審議事項]

第 1 号議案 議事録署名人選任について

議長は，本会の議事録署名人の選出を議場に諮り，下記の 2 名を議事録署名人として満場一致で選任した。

議事録署名人：盛田 俊介 常任幹事，宮崎 彩子 常任幹事

第 2 号議案 平成 27 年度決算報告

議長は，平成 27 年度の会計報告を報告事項として，監査後に再度審議を行うことに決した。監査はこの会議後行われることが報告された。（報告事項 8 参照）

第 3 号議案 第 49 回日本臨床検査専門医会総会における講演会

（第 63 回日本臨床検査医学会学術集会－神戸－）

議長は，自身（登会長）が演者をつとめることを議場に諮ったところ，満場一致で賛成された。

第 4 号議案 第 63 回日本臨床検査医学会学術集会共催シンポジウム

議長は，三宅一徳庶務・会計監事に共催シンポジウムについて詳細を説明させた。

例年通り学会との共催については既に承諾の返信済みであり，テーマ・コーディネーターを決めていただきたいとの発言があった。

議長より本田副会長と米川常任幹事に担当をお願いしたいという提案があり，満場一致で承認された。

第5号議案 第28回（平成30年度）春季大会

議長は、第28回春季大会は、大会長を本田孝行副会長にお願いし、場所は松本で開催することを提案し、満場一致で承認された。

第6号議案 日本専門医機構認定講習会（グループワーク）について

議長は、三宅一徳庶務・会計監事に機構による新専門医認定制度における認定講習について説明させた。専門医機構山田俊幸先生より、日本臨床検査医学会では座学を中心として、Eラーニングによる研修も構築予定であるが、グループワーク等の実技研修については専門医会での開催検討の依頼があったことが報告され、議長はその対応について議場に諮った。

講習内容が未確定であることから、当面は機構の山田俊幸先生と三宅一徳庶務・会計監事が内容を詰め、再度幹事会で検討することとなった。

第7号議案 その他

議長は参院選比例代表候補者（宮島日臨技会長）の推薦依頼への対応について議場に諮った。審議の結果、登会長が宮島氏と直接面談した後、方針を決定することとなった。

[報告事項]

1. 平成28・29年度役員について

登会長より平成28、29年度役員および関連団体委員について以下の通り報告があった。

会 長：登 勉

副会長：東條尚子，本田 孝行

常任幹事：木村 聡，佐藤 麻子，土屋 達行，古川 泰司，三宅 一徳，宮崎 彩子，
盛田 俊介，米川 修

監 事：高木 康，佐守 友博

全国幹事：紀野 修一，場 広之，五十嵐雅彦，上原 由紀，久川 聡，
松下 一之，浅井 さとみ，増田 亜希子，〆谷 直人，村田 哲也，
和田 隆志，日高 洋，中村 文彦，横崎典哉，長井 篤，大澤 春彦
橋口照人，柳原 克紀

日本臨床検査医学会連絡委員： 三宅 一徳

JCCLS 委員： 高木 康

WASP 委員： 佐守 友博

内保連委員： 古川 泰司，佐藤 尚武

臨床検査専門医・管理医審議会委員： 三宅 一徳, 本田 孝行

臨床検査振興協議会

理事： 登 勉, 高木 康

広報委員会： 木村 聡, 盛田 俊介

編集出版委員会： 〆谷 直人

ホームページ担当： 藤原 久美

(その他については2月18日定例理事会以降に検討する。)

日本臨床衛生検査技師会「検査と健康展」担当 佐藤 麻子

2. 平成28・29年度委員会について

登会長より平成28・29年度各種委員会委員について紹介があった。

・情報・出版委員会：

盛田 俊介委員長, 出居 真由美, 清水 力, 信岡 祐彦, 福地 邦彦, 増田 亜希子,
吉田 博

・教育研修委員会：

米川 修委員長, 浅井 さとみ, 萱場 広之, 東田 修二, 宮崎 彩子, 村田 哲也,
山崎 正晴, 菊池 春人

・資格審査・会則改定委員会：

土屋 達行委員長, 康 東天, 菊池 春人, 下澤 達雄, 谷口 信行, 田部 陽子,
松浦 知和

・広報委員会：

木村 聡, 五十嵐 岳, 江橋 正浩, 菅野 渉平, 高木 潤子, 田部 陽子, 千葉 泰彦,
古田 眞智, 増田 亜希子

・渉外委員会：

東條 尚子委員長, 木村 聡, 鯉淵 晴美, 小林 礼, 下澤 達雄, 長井 篤,
村上 純子

・保険点数委員会：

古川 泰司委員長, 浅井 さとみ, 島崎 英幸, 清水 力, 田中 郁子, 細川 直登,
松下 一之, 佐藤 尚武

・ネットワーク運営委員会：

宮崎 彩子委員長, 河野 誠司, 佐守 友博, 鯉淵 晴美, 増田 亜希子,
土屋 達行 (学会より)

3. 各種委員会報告

①情報・出版委員会

盛田俊介委員長より2015年版要覧は春に発行を予定している旨の報告があった。

②教育研修委員会

米川修委員長より本年度の教育セミナーの場所・日時については検討中である旨の報告があった。

③資格審査・会則改定委員会

土屋達行委員長より12月末より4名の新規入会希望者があり、審議の結果入会が認められた旨の報告があった。

④渉外委員会

東條尚子委員長より本年度の臨床検査振興セミナーは7月15日（金）東京ガーデンパレスにて例年通り14時から17時に開催予定であり、講演については本年度が診療報酬改定の年のため厚労省より1名、また検査の側より1名、他の分野より1名、計3名の演者を依頼する予定である旨の報告があった。

⑤広報委員会

木村聡委員長より今期の委員会は立候補を募りメンバーを決定したことが報告された。春季大会の時に顔合わせを兼ね第1回委員会を開催したい、また活動としてはホームページをどうするかということから始めたいとの旨の報告があった。

⑥保険点数委員会

古川泰司委員長より2月20日頃に改訂内容が出るのでそれを把握した上でアドバイザーをお願いした先生と相談し第1回委員会を開催したいとの報告があった。

⑦ネットワーク運営委員会

宮崎彩子委員長より、委員として開発費交渉を担当した佐守前会長、若い会員の意見反映のため鯉淵晴美委員、増田亜希子委員に参加をお願いした旨の報告があった。ネットワークシステムの進捗状況については以下の報告があった。

<ネットワークシステムの現状報告>

- ・会員画面：Q&Aシステムはほぼ完成している。
- ・リーダー管理画面：リーダーは投稿者の質問を見ていい質問があればQ&Aに登録する。操作自体は問題ないが、もう少しわかりやすいように修正を業者に依頼中。
- ・事務局の管理画面：ネットワークシステムの会員情報で会員管理をすれば要覧作成などが楽になるが、それにはシステムが不足しているためもう少し完成させる必要がある。前年度予算内では無理のためもう一度予算を出して審議していただきたい。

来週から会員情報を実際に入力予定。2月1日よりシステムを正式稼働し、会員に郵送でログインID、パスワードを操作資料とともに発送し知らせる。その際、登新会

長と佐守前会長の名前でこのような事業が開始されるという案内文をつける。メールを使用していない会員にもこれを機にメールアドレスを登録していただく。

Q&A システムを運営していく分野リーダーに関しては立ち上げ時は以前お願いした全国幹事の中から、それ以降も全国幹事をお願いしてはどうか。

自分の担当分野の中で会員に役立つようなQ&Aを年1回ピックアップして選んでいただく。

・業務記録をつけるコーナーについて

検査と健康展に協力した場合学会からポイント認定をもらうには公的証明が必要なので検討していただきたい。

登会長よりネットワークに参加することによって更新の際の単位取得につながっていくとよいとの発言があった。

佐守前会長より前任の全国幹事がリーダーに決まっているが、今後登録が進み各分野どの程度の登録数になるか把握した上で分野ごとのリーダーにリーダーの順番を考えていただくのがよい、また、学会内の若手の会はずでにメーリングリストでQ&Aをやっているの若手の会として質問ができるようにし学会との融合をはかっていくべきとの発言があった。

4. 第26回（平成28年度）春季大会（高知：大会長 杉浦哲郎先生）

三宅一徳庶務・会計幹事より以下のプログラムで開催予定であり、専門医機構領域委員会より各種講習会として認定されたことが報告された。

大会長：杉浦 哲郎（高知大学医学部病態情報診断学）

期 日：2016年（平成28年）3月25日（金）、26日（土）

会 場：（1日目）ホテル日航高知 旭ロイヤル

参加費・懇親会費：大会参加費 3,000円

生涯教育講演会参加費 2,000円

懇親会費 4,000円

第1日 3月25日（金）

12:30～14:00 全国幹事会

14:30～16:30 生涯教育講演会 「専門医共通講習（医療安全）」

司会：慶應義塾大学医学部臨床検査医学 菊池 春人

1. 生理検査室の安全管理・精度管理

演者：帝京大学医学部附属病院 中央検査部 古川 泰司

2. 輸血検査室の診療支援と安全管理

演者：東京医科大学八王子医療センター 臨床検査医学科・輸血部 田中 朝志

* 本企画は日本専門医機構 臨床検査専門医認定・更新に係る「専門医共通講習（医療安全）」2単位に認定されています

16:40 ~ 17:40 特別講演 「臨床検査専門講習」

「臨床検査領域における質量分析技術の活用」

司会：小山田記念温泉病院 登 勉

演者：千葉大学医学部附属病院マススペクトロメトリ検査診断学寄付研究部門

野村 文夫

* 本企画は日本専門医機構 臨床検査専門医認定・更新に係る「臨床検査専門講習」1単位に認定されています

懇親会：3月25日（金）18:00~20:00

ホテル日航高知 旭ロイヤル 5階 ウォーターフォール

第2日 3月26日（土）

9:00 ~ 11:00 シンポジウムⅠ「病院運営を支える臨床検査」「臨床検査専門講習」

司会：日本食品エコロジー研究所 佐守 友博

高知大学医学部病態情報診断学 松村 敬久

1. 情報システムの立場から 高知大学医学部附属病院検査部 小倉 克巳
2. 生理検査の立場から 東京都教職員互助会 三楽病院 臨床検査科 東條 尚子
3. 検体検査の立場から 川崎医科大学検査診断学 通山 薫
4. 感染対策の立場から 京都大学医学部臨床病態検査学 一山 智

* 本企画は日本専門医機構 臨床検査専門医認定・更新に係る「臨床検査専門講習」2単位に認定されています。

11:10 ~ 12:00 総会

12:00 ~ 12:50 ランチョンセミナー

13:00 ~ 14:50 シンポジウムⅡ 「いよいよ始まる新専門医制度」

「専門医共通講習（指導医）」

司会：昭和大学医学部医学教育学 高木 康

高知大学医学部病態情報診断学 杉浦 哲朗

1. 専門医機構の立場から 高知医療再生機構 倉本 秋
2. 行政の立場から 高知県健康政策部 家保 英隆
3. 専門領域の立場から

内科 高知大学医学部血液・呼吸器内科学 横山 彰仁

臨床検査 自治医科大学臨床検査医学 山田 俊幸

* 本企画は日本専門医機構 臨床検査専門医認定・更新に係る「専門医共通講習（指導医）」1単位に認定されています。

5. 第27回（平成29年度）春季大会（熱海：大会長 〆谷直人先生）

三宅一徳庶務・会計幹事より平成29年度第27回春季大会について以下のような準備状況であることが報告された。

大会長：〆谷 直人教授（国際医療福祉大学熱海病院）

会 期：2017年2月24日（金）、25日（土）

会 場：ホテルリゾートピア熱海（静岡県熱海市）

メインテーマ「臨床検査専門医のアイデンティティ」

プログラム

第1日 2月24日（金）関連行事（ホテルリゾートピア熱海）

・13:30～15:30 生涯教育講演会・指導医講習会〔日本臨床検査専門医会担当〕

・15:30～16:30 特別講演

「臨床検査室の精度管理の仕方—品質保証のプロセス管理—」

・16:35～17:50 全国幹事会

（講演会場で懇親会を開くにあたり1時間ほど準備のために別室で幹事会）

・18:00～20:00 懇親会

第2日 2月25日（土）春季大会（ホテルリゾートピア熱海）

・9:30～9:35 大会長挨拶

・9:40～11:50 パネルディスカッション 「望まれる臨床検査専門医とは」

司会 （臨床検査専門医会の副会長と教育担当の常任幹事の2名）

1. 看護師の立場から 未定

2. 薬剤師の立場から 山田 成樹（藤田保健衛生大学病院薬剤部教授）

3. 臨床検査技師の立場から 横山 一紀（神奈川県臨床衛生検査技師会会長）

4. 臨床検査教育の教員の立場から 未定

5. 座長によるまとめのレクチャー [教育担当の常任幹事]

・12:00～12:50 ランチョンセミナー [栄研化学]

・13:00～13:45 総会

・13:50～16:00 ワークショップ

「理事長(会長)を務める臨床検査専門医が語るアイデンティティとハーモニー」

なお、2017年4月以降の新専門医制度講習会は機構から直接認定を得る必要があるが、本会は領域委員会が現状通り認定する予定であり、「まとめのレクチャー」は不要となる予定であることが報告された。

6. 平成27年度第3回日本臨床検査医学会専門医・管理医審議会報告

三宅一徳庶務・会計幹事より本年度の専門医試験は杏林大学で、管理医試験は10月2日に東京医科歯科大学で行われることが報告された。

登会長より資格更新していない人でも専門医会では専門医番号がついているが、学会認定の専門医とは異なっている点をどうするかが課題であるとの発言があった。

土屋常任幹事より今後認定試験様式が変化する可能性があるとの発言があり、登会長より今後の動向を注視する必要があるとの発言があった。

7. 平成28年度行事予定

三宅一徳庶務会計幹事より平成28年度年間行事予定表について報告があった。

学術集会時の第五回臨床検査を学ぶ若手の会については木村常任幹事が担当窓口になることとなった。

8. 平成27年度会計報告

登勉会長より平成27年度会計は監事による監査が終了していないため、資料として説明する旨の説明があり、三宅一徳庶務・会計幹事より資料（本文末に掲載）に基づいて報告がなされた。収入では賛助会員会費が-10万円なのは、決算書に「寄付金」の項目がないとの理由で1社から納入がなかったため、広告収入が少ないのはLab GPが1号しか出ていないためであり、また支出で印刷代・通信費の残額が多いのは年末発行分が年明けになったためであることが報告された。

佐守監事よりネットワーク開発費に関しては本年度追加分が別途かかる予定であることが報告された。

以上をもって全議案の審議並びに報告を終了したので、議長は閉会を宣し解散した。

議事録署名人

平成 28年 10月 3日

宮崎 彩子

平成 28年 10月 7日

盛田 俊介

日本臨床検査専門医会 平成27年度決算報告書
(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

平成27年12月31日現在

【一般会計】

収入 詳細は会計帳簿記載	入金	10,605,953	29,407,082
	前年度繰越金	18,801,129	
支出 詳細は会計帳簿記載	庶務経費	3,396,342	11,269,098
	事業経費	7,872,756	
収支および次年度繰越金			18,137,984

次年度繰越金	ゆうちょ銀行振替口座 残高証明書 別紙	15,859,528	18,137,984
	三菱東京UFJ銀行口座 残高証明書 別紙	2,271,829	
	現金	6,627	

【特別会計】

定期預金	三菱東京UFJ銀行口座 残高証明書 別紙	10,000,000
------	-------------------------	------------

【残高合計】

次年度繰越金 + 定期預金	28,137,984
---------------	------------

平成28年1月13日

庶務・会計幹事 印

平成27年度日本臨床検査専門医会収支報告は、監査の結果、上記に相違ないことを認めます。

平成28年 月 日

監事 印

平成28年 月 日

監事 印

平成27年度 決算報告

平成27年	項目	予算額	決算額		
収入	会費	会員会費	6,740,000	5,890,000	
		賛助会員会費・寄付金	4,000,000	3,900,000	
		小計	10,740,000	9,790,000	
	その他	広告収入	400,000	131,566	
		教育セミナー参加費	400,000	320,000	
		生涯教育講演会参加費	100,000	230,000	
		振興セミナー参加費	100,000	132,000	
		利息	15,000	2,387	
		小計	1,015,000	815,953	
	入金合計		11,755,000	10,605,953	
支出	庶務経費	事務局雑費	150,000	104,254	
		通信費(事務局)	170,000	119,972	
		人件費	1,400,000	1,352,023	
		FAX使用料	60,000	56,678	
		事務所維持費	1,700,000	1,712,557	
		設備費	150,000	50,858	
		小計	3,630,000	3,396,342	
	事業経費	印刷代	2,000,000	1,177,824	
		要覧印刷代	550,000	0	
		通信費	800,000	744,943	
		春季大会補助金	500,000	500,000	
			850,000	999,891	
		教育セミナー費	750,000	510,594	
		会議費	1,000,000	1,040,402	
		交通費	70,000	86,015	
		宿泊費	20,000	18,000	
		原稿料	100,000	0	
		専門医ネットワーク開発費	2,376,000	2,052,000	
		HP維持費	170,000	136,191	
		JCOLS会費	50,000	50,000	
		WASPALM会費	55,000	56,896	
		臨床検査振興協議会	300,000	300,000	
		内保連	200,000	200,000	
		予備費	75,000	0	
		小計	9,866,000	7,872,756	
		出金合計		13,496,000	11,269,098
		収支決算			(663,145)
		前年度繰越金			18,801,129
		次年度繰越金			18,137,984